

2024年度 藤本化学製品㈱ 生物多様性の重点項目

2025年4月30日

E S G 推進室

熱帯雨林の環境破壊防止を目的

- ・ 消耗剤として使用する紙製品について、「環境対応商品」の製品を積極的に購入する。

2024年4月ー2025年3月(通期集計)

単位(千円)

	消耗品					その他	
	環境対応商品 金額合計	購入品目 例	環境対応 購入金額割合%	2023年 通期実績	4-3月 消耗品費合計	環境対応商品 金額	購入品目 例
営業本部	112	コピー用紙等の紙製事務用品、一般事務用品 衛生製品	35.0%	54.5%	318	0	
管理本部	456	コピー用紙等の紙製事務用品、一般事務用品 衛生製品	63.1%	49.2%	722	0	
泉北工場	2,766	コピー用紙等の紙製事務用品、一般事務用品 衛生製品、OKパイオ規格袋	4.9%	5.8%	56,327	42	一般事務用品 食料品
金楽工場	1,317	コピー用紙等の紙製事務用品、一般事務用品 衛生製品	16.5%	13.3%	7,994	242	事務保管庫 作業服
研究開発本部	150	コピー用紙等の紙製事務用品、一般事務用品	1.7%	1.7%	8,644	0	
全社	¥4,801				¥74,007	¥284	
			6.5%	7.4%		6.8%	8.2% (2023年通期実績)

消耗品における「環境対応商品」の購入割合

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全社	8.8%	6.5%	8.3%	8.2%	6.8%

考察

各部にて環境対応商品の購入推進に対する意識づけが出来ており、昨年同様に環境保護に対する活動の成果が得られています。

全社における消耗品中の環境対応商品購入割合は6.5%(昨年7.4%)であり、その他環境対応商品の購入を含めて、6.8%(昨年8.2%)です。

消耗品以外の環境対応商品について約28万円を購入しており、購入促進に向けた意識づけができています。

次期へ向けて

引き続き、事務用品等の備品類(紙製品)については、環境対応商品を積極購入して、結果を集計する予定です。

紙製品のみでなく、環境効率に優れた製品や環境保全に貢献する製品全般について購入対象を広げていきます。

以上